

平成 20 年 1 月 10 日

1 月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに平成 20 年の新春をお迎えのことと存じます。本日は本年最初の定例会見となりますので、私からは年頭にあたっての所感を 4 点申し上げたいと思います。

まずは、「発電所の耐震安全性評価」についてです。

耐震安全性評価につきましては、今後、昨年より実施している地質調査の結果をもとにした基準地震動を策定するとともに、それに基づく建屋・機器の設計チェックを行う予定です。

現在、最新の知見に基づき、活断層の再評価を実施しておりますが、今回の地震動の特性についても併せて解明を進めてまいります。なお、海上音波探査につきましては、現在鋭意作業を進めているところですが、評価作業に時間がかかっており、結果の取りまとめは 3 月末となる見込みです。

また、発電所の耐震設計は、活断層等による地震動のみならず建屋・機器に対する適切な安全裕度等も考慮して総合的に行っております。こうしたことから、今回の地震においても、安全上重要な設備に大きな被害がなかったものと考えておりますが、このことについても、今後、解析等により検証してまいります。

なお、耐震安全性評価の検討状況につきましては、これまでも国の委員会・WG 等において報告するとともに、随時、ご説明をさせていただいているところですが、今後も情報公開に努めていく所存です。

2 点目は、「情報公開とコミュニケーション」についてです。

当社は、地震発生以降、協力企業と一体となり設備の点検・調査を進めておりますが、本年も引き続き全力をあげて、設備の点検・復旧を進めるとともに、地質調査を含めた耐震安全性評価にしっかりと取り組んでまいります。

こうした中、発電所の点検・調査状況や当社が実施しようとしている計画などを、地域の方々をはじめとする社会の皆さまに分かりやすくお知らせし、ご理解をいただくことは極めて重要であると考えております。

特に、地域の皆さまへのお知らせを行う際には、皆さまが何を心配されているのか、何に関心をお持ちなのかということに、これまで以上に感度を高めて対応してまいります。

こうした観点に立ったうえで、本年も、様々な媒体を活用した分かりやすい情報発信を適時・的確に行うとともに、地域説明会やふれあい訪問等を通じた地域の皆さまとのコミュニケーション活動を推進してまいります。さらに、できるだけ多くの方々に発電所の状況を見ていただけるよう、積極的な現場公開にも努めてまいります。

3点目は、「昨年得られた課題・教訓への対応」についてです。

地震発生以後の当社の対応においては、初期消火や地域の方々への広報のあり方など、さまざまな教訓と反省がありました。昨年末には、この教訓と反省を踏まえ、自衛消防体制や情報連絡・提供の強化策に関する当面の取り組み方針を取りまとめました。本年は、消火配管の地上化や免震構造を含めた緊急時対策室の耐震強化など、一つひとつの課題について整備・改善し、皆さまから信頼され安心していただける発電所を目指してまいります。

4点目は、「発電所における運転体制の変更」についてです。

当社は、原子力発電所における運転業務について、業務品質の更なる向上等を目指した検討を行ってまいりましたが、このたび1月16日付で、各原子力発電所の運転管理部に「作業管理グループ」を設置するとともに、運転員の当直勤務を3交替制から2交替制に変更することといたしました。見直しの具体的内容については、後ほどご説明いたしますが、今回の変更により、運転業務の品質向上とヒューマンエラーの低減が図られるものと考えております。

こうした取り組みを推進する今年は、当発電所にとって、これまでにない大変重要な一年になると考えております。今後、私自身が先頭に立ち、発電所で働く一人ひとりが、もっと地域の方々の視点に立ち、その思いに配慮しながら仕事に取り組んでいけるよう努力してまいります。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

以 上

添付)

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- ・ プレス公表(運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成20年1月)

平成20年1月10日

発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定期検査による停止												
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止 原子炉自動停止												
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止 原子炉自動停止												
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	停止中 停止期間:H19.7.16~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H18.12.11)	第9回定期検査による停止 原子炉自動停止												
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定期検査による停止 原子炉手動停止												
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.11.15~	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第8回定期検査による停止 原子炉自動停止												

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」。

発電所設備利用率(%) (12月末現在)

12月	0.0%
19年度累計	21.5%
運転開始後累計	74.4%

発電所発電電力量(万kWh) (12月末現在)

12月	0
19年度累計	1,164,943
運転開始後累計	80,191,836

ドラム缶発生量(本) (H19年度第2四半期)

当期発生本数	61
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,391
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H19年度第2四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,372
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

構内従業員データ(人) (1月4日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	792	2,539	58%
	刈羽村	78	263	6%
	その他	77	779	15%
	小計	947	3,581	79%
県外		130	1,068	21%
合計		1,077	4,649	-
		5,726		100%
協力企業社数(社)		541		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が含まない場合がある。

来客情報(人) (12月末現在)

	12月	年度累計
地元	1,123	7,998
県内	544	9,589
県外	1,608	15,775
国外	87	318
合計	3,362	33,680

今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月9・10日	チョコレートケーキをつくりましょう(柏崎エネルギーホール)
2月9日	いんのこまつり(き・な・せ)
2月14日	次回定例所長会見予定

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	12月11日 12月13日	4号機	使用済燃料プールでの異物の発見について（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none">・12月10日、使用済燃料プールにおいて、制御棒貯蔵ハンガーの点検をしていたところ、針金状のもの（長さ約3cm）、座金（直径約2cm）および中性子束計測管切断片と考えられるもの（約3cm×約1.5cm×約1cm）を発見。その後、座金（円環状、直径約2cm）1個を発見した。・針金状のもの、座金については12月11日に回収済み。中性子束計測管切断片と考えられるものについては、今後回収する予定。・また、12月12日、ブレードガイド貯蔵ラックの点検を行っていたところ、座金（円環状、直径約2cm）と針金状のもの（長さ約1cm）を発見した。同日回収済み。・なお、原子炉と使用済燃料プールはプールゲートで仕切られており、またプール内には新燃料および再装荷する燃料が無いことから、燃料に影響を与えるものではない。